

ラムサール条約湿地登録の日記念●講演会

鳥たちからのサイン 渡良瀬遊水地とその周辺



クサシギ
撮影：日向野哲夫



なわばり内のヨシにとまる早春のセッカ
撮影：平野敏明



サンカノゴイ
撮影：日向野哲夫

日時● **7月24日(日) 13:30~16:30**

場所● **栃木市栃木文化会館 大会議室**

参加費無料

渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録されてから4年になります。多くの方が訪れ、貴重なヨシ原の恵みを楽しむ一方、国土交通省の大規模な湿地再生事業が進められています。この事業を見守るべく当会では、「市民による生きもの調査」をおこなっています。ここで長年鳥類の生態調査に当たってこられた専門家のお二人に、最近の研究成果についてご講演いただきます。



栃木市栃木文化会館

〒328-0035 栃木県栃木市旭町 12-16

TEL: 0282-23-5678 FAX: 0282-23-5099

I 湿地性鳥類と 渡良瀬遊水地

講師● **平野敏明 氏**
(NPO法人バードリサーチ)

[プロフィール]

- 学生時代から鳥類の研究を始め、セキレイ類の生態に関する研究で日本鳥類学奨励賞を受賞（昭和57年）。日本野鳥の会栃木県支部（現・日本野鳥の会栃木）幹事・副支部長を歴任。
- 栃木県産鳥類目録（1981年）の編纂をはじめ、日本野鳥の会栃木県支部の研究誌「Accipiter」発行に尽力。
- 2005年からNPO法人バードリサーチの運営委員及び研究員。バードリサーチでは市民参加型のモニタリング調査を企画・担当すると共に、渡良瀬遊水地でチュウヒやオオセッカ、クイナ類をはじめとする湿地性の鳥類の生態調査に従事し、多数の論文を発表。

II 日本に飛来する シギ・チドリの現状と 渡良瀬遊水地周辺

講師● **守屋年史 氏**
(NPO法人バードリサーチ)

[プロフィール]

- NPO法人バードリサーチの研究員。
- 主な担当は、干潟、内陸湿地、水田、砂浜などの水鳥のモニタリング調査・保全。
- 環境省モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査の事務局を担当。
- 東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ シギ・チドリ類の国内コーディネーター。
- 内陸湿地の調査活動として、2015年の小山市における「なつみずたんぼ」のシギ・チドリ類の調査に関わっている。

主催● **渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会**

〒328-0053 栃木県栃木市片柳町 4-16-1 猿山弘子方 TEL&FAX 0282-23-1078 <http://www.watarase-kyougikai.org>

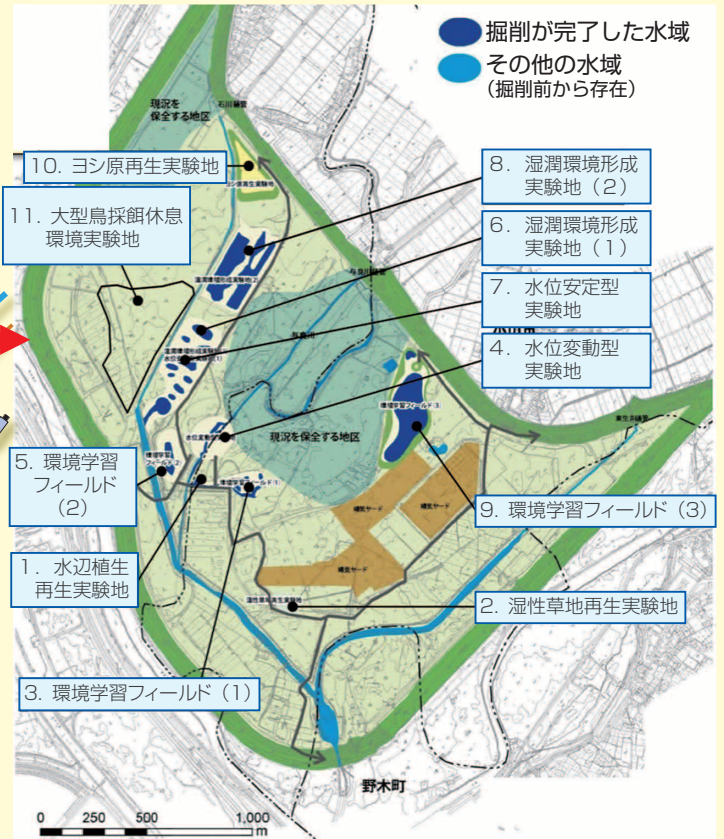
後援● **日本野鳥の会栃木**



国土交通省が「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」(2010年3月)に基づき、第二調節池で湿地再生実験地の掘削を進めてきています。
すでに11箇所の実験地が造成されました。

【渡良瀬遊水地】

【第二調節池で進行中の湿地再生実験地】



今年6月の「市民による生きもの調査(植物班)」(住民協議会では2013年から市民の自主参加により、湿地再生実験地で植物、昆虫、野鳥、水生生物等の調査を続けています。)